



川口市議会議員
松本ひでとし

松本ひでとし活動レポート

Vol.5

—ひとつひとつを確実に!—

〈討議資料〉

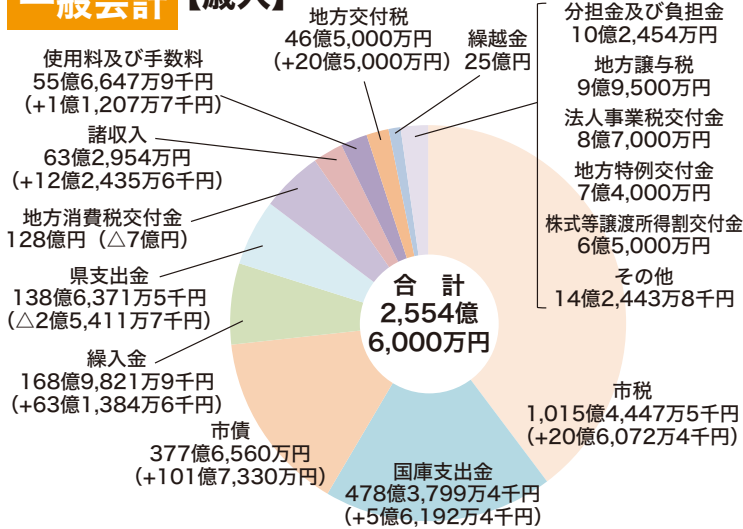
松本ひでとし後援会事務所 〒332-0017 川口市栄町2-12-27-101 TEL:048-430-7291 FAX:048-258-2233

川口市令和6年度当初予算の総額とポイント

R6当初 4,608億2,960万円
(前年度比 + 209億4,860万円)

一般会計 2,554億6,000万円 (+218億8,000万円)
特別会計 1,449億5,560万円 (+ 3億 460万円)
企業会計 604億1,400万円 (△ 12億3,600万円)

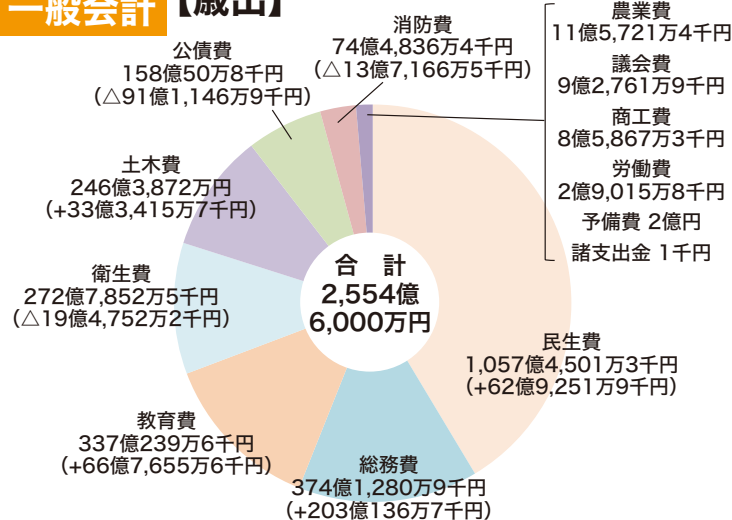
一般会計【歳入】



- ・主な増要因は、市税収入の約21億円の増や、歳出に記載の事業の進捗等に伴う市債の約102億円の増によるもの。
- ・主な減要因は、新型コロナウイルス関連補助金の約45億円の減、地方財政計画を踏まえた臨時財政対策債の12億円の減によるもの。

※ いわゆる「定額減税」による影響は反映していない。

一般会計【歳出】



- ・主な増要因は、新庁舎、総合文化センターの改修に伴う総務費の増(約203億円)や、仲町小学校の改築等に伴う教育費の増(約67億円)によるもの。
- ・主な減要因は、グリーンセンター再整備事業の見直しに伴う農業費の減(△約23億円)や、借換債の減に伴う公債費の減(△約91億円)によるもの。

Point さらなる子育てしやすいまちへ

- **子ども医療費支給事業【拡充】**
(子育て支援課) 25億9,281万9千円
・令和6年10月診療分から対象年齢を拡充
①高校生年代(18歳)まで
②入院、通院いずれも対象(継続) ③所得制限なし(継続)
- **出産・子育て応援事業【継続】**
(地域保健センター) 4億5,753万6千円
- **児童手当支給事業【拡充】**
(子育て支援課) 97億893万5千円
・令和6年10月分(12月支給分)から拡充。
①所得制限の撤廃 ②支給年齢の拡充(18歳まで)
③第3子以降の支給額の拡充(3万円)
- **放課後児童クラブ施設運営費【拡充】**
(学務課) 14億9,793万1千円
・夏休み等の学校の長期休業中に放課後児童クラブを利用する児童のうち希望者に対し、昼食用の弁当の提供(有料)を開始。

Point 川口駅周辺の都市基盤整備【継続】

- ・「川口駅周辺まちづくりビジョン」(令和4年3月策定)における鉄道輸送力の増強を目的とした「交通拠点のリニューアル」や、駅周辺の良好な居住環境や歩行空間の創出を図る「まちなか再生」など、優先的に取り組む5つのプロジェクトを推進。



- **川口駅周辺まちづくり検討事業【継続】**
(都市計画課) 1,673万1千円
・川口駅周辺まちづくりビジョンの実現に向けて、鉄道用地拡張等による既存構築物への影響や改修方法について検討。
- **六間通り線機能・魅力向上事業【継続】**
(道路街路課) 6億1,430万9千円
・川口駅と川口元郷駅の間を繋ぐ六間通り線の円滑な乗継ぎ環境や、快適で魅力的な沿道空間の創出に向け取り組む。

川口駅再整備基本計画（案）概要（施設計画）

ホームの増設

○停車対象とする中距離電車

- 再整備が必要である理由を踏まえ、**上野東京ラインを停車対象**とする

上野東京ラインの優位点

鉄道輸送力の高さ
(輸送人員・代替性)

沿線の開発見込

再整備の必要理由

住み続けたいまち

さらなる選ばれるまち

関係人口の拡大

※湘南新宿ラインは埼京線と線路を共有しており、その影響を受けるため、更なる本数増加は困難な状況であると考えられ、また、緊急時の代替性が低い

※沿線の開発例として、上野東京ラインと直結する「羽田空港アクセス線(仮称)東山手ルート」が挙げられ、その実現により羽田空港へのダイレクトアクセスが可能となる



○整備位置

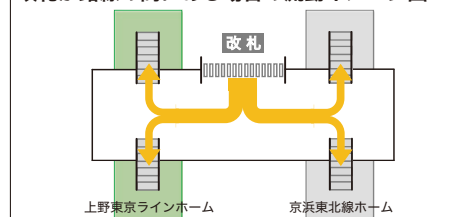
- 既存の京浜東北線ホームの西側に新設
- ホーム新設に伴い、**西口方向への鉄道用地の拡幅**が必要となるが、拡幅用地は、**市有地に収まり、民有地の取得は不要**と想定している

コンコースの整備

○求められる要件

- ①京浜東北線と上野東京ラインの両路線に係る流動に対応した**旅客動線の幅員確保**
- ②京浜東北線のホームへの**旅客動線と施工場所との隔離**
- ③コンコースを京浜東北線のホームと上野東京ラインのホームの間に配置
- ④現在のコンコースの位置から大きく変わらない位置とすること

改札が路線の間にある場合の流動イメージ図

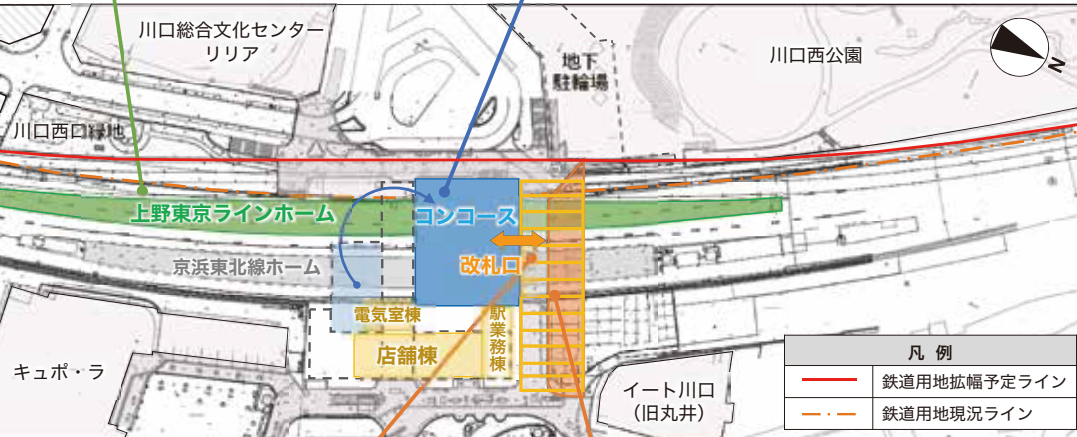


○整備位置

- 既存の駅舎内通路と駅北側に位置する歩行者デッキの間に、**コンコースを建て替える**
- ※既存駅舎の活用には、大規模な改修や複雑な施工計画の立案が必要。また、駅舎の大部分が築後50年以上を経過しており、ホーム新設を契機として、川口駅の再整備が必要である

【計画案】

これからも分かりやすくお伝えしていきます。



自由通路・改札の整備

○整備位置

- 事業費等の観点から、**下表のB案**を軸に検討中。

	整備案	事業費	利用者への影響	まちづくりへの影響
A案	自由通路復元 改札口	×	○	○
		自由通路の復元を伴うため、相対的に高い	影響はなし	影響は軽微
B案	既存デッキの活用 改札口	○	△	○
		既存デッキを活用するため、相対的に安い	駅前広場のエスカレーターの設置場所等について要検討	相乗効果が期待

○既存デッキの拡幅等の可能性

- B案は、**既存デッキを北側に拡幅し屋根を設置**することで、**まちなかウォークブル**を推進可能

既存デッキの活用
自由通路の拡幅・屋根設置

○改札口を複数とする可能性

- JR東日本での駅舎の検討に併せて、商業施設整備に係る検討状況を注視しつつ、改札口を複数とすることの可能性について検討

※計画内容については、今後、市が市民の皆様へ丁寧に説明していくとのことです。